

技術導入特別経済区 トムスク市



経済特区

- ロシア連邦の一部である経済特区はロシア連邦政府によって決定されている。
- 2005年7月22日に採択された「経済特区に関する連邦法」116- によって経済特区の設立と活動が規定されている。
- 経済特区法は良好な環境でビジネスが出来るように採択された。税制優遇措置も制定されている。
- 連邦経済特区管理庁」は経済特区の監督と運営を行っている。

経済特区入居者に対する税制優遇措置

資産税(初めの10年間) - **0%**

土地税(初めの5年間) - **0%**

統一社会税 - 14% (26%の代わりに)

運輸税(初めの10年間) - **0%**

利潤税 - 20% (24%の代わりに)

One-Stop-Shop 行政体制

輸入関税 - **0%**

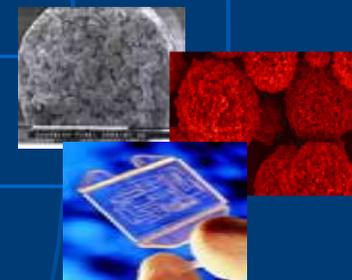
経済特区の存続期間に渡る税法上の保証(20年間)

使命:

新しいハイテク産業の発足、科学技術製品の商業化を目指してユニークな環境を作ること。

事業分野

ナノテクノロジー
新素材



ICT
エレクトロニクス

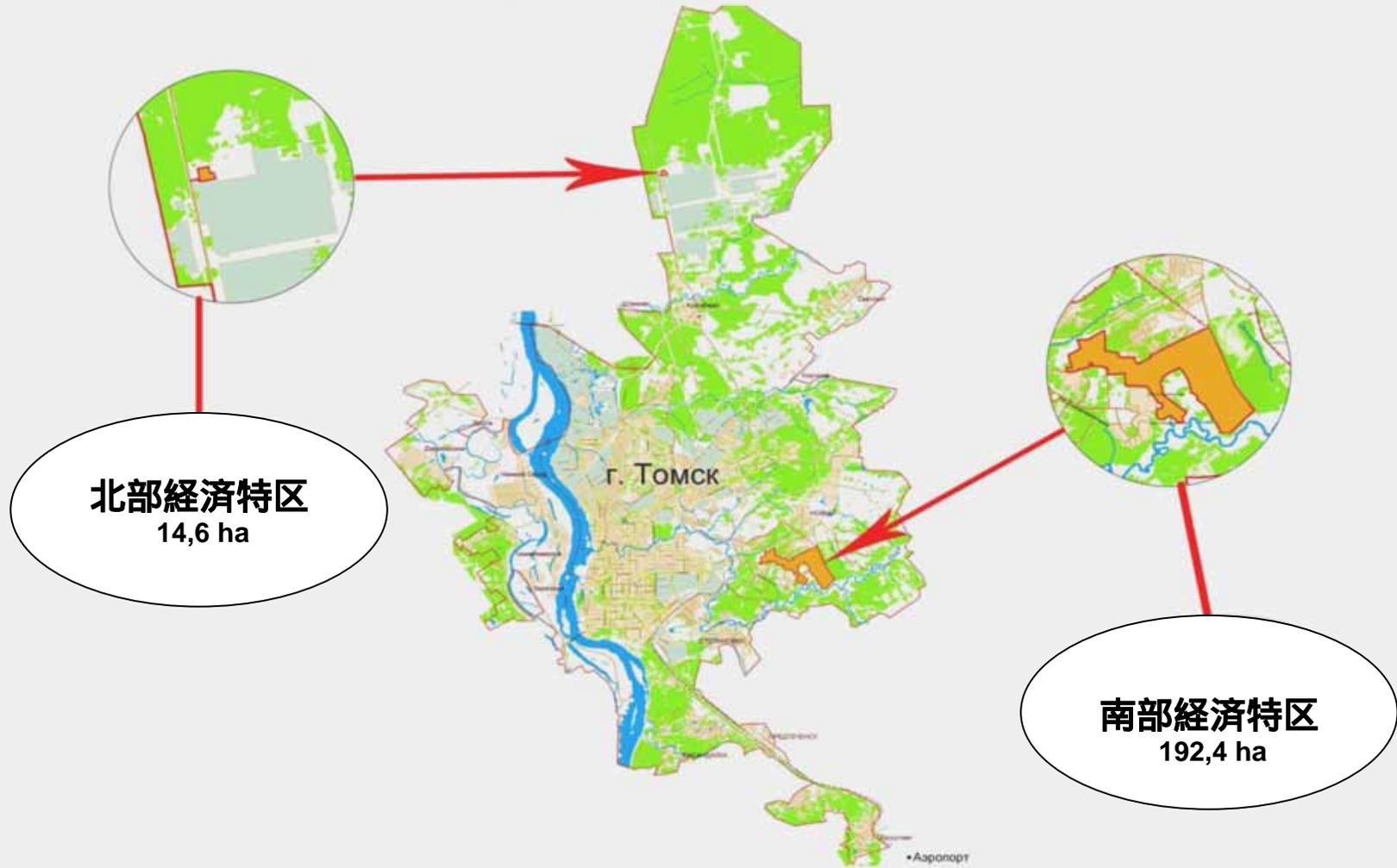


バイオテクノロジー
医学



経済特区地図

トムスクの経済特区の地図



経済特区の開会式



2006年4月25日
プーチン大統領による経済特区の開始

経済特区の発展

ロシア連邦大統領より認定証第1号が渡された経済特区の最初の企業は「SIBUR-Tomskneftekhim」。

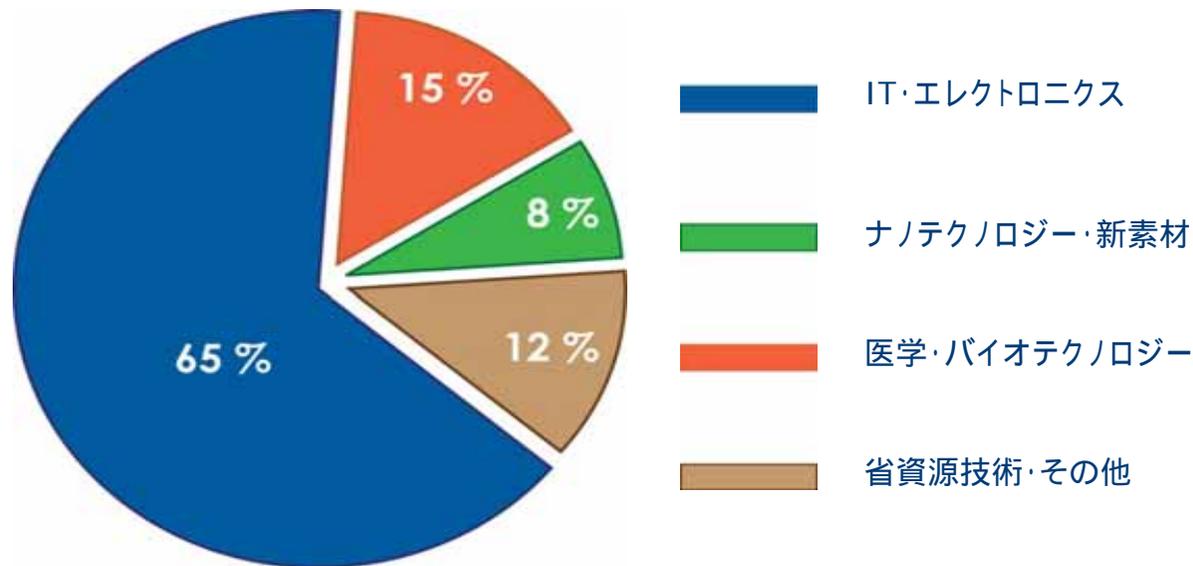
「SIBUR-Tomskneftekhim」は経済特区の北地区に建設された。

2008年9月1日現在の経済特区の企業数 - 25社
2008年末には企業数が 30社に達する見込み

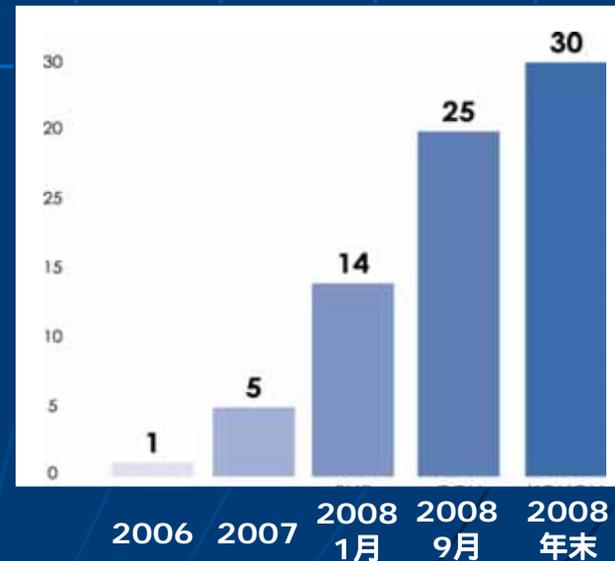


「SIBUR-Tomskneftekhim」

経済特区進出企業分野別割合



企業数



北部経済特区

特区のインフラ整備事業に関する問題が解決された。
熱エネルギー、電力、水道の供給、排水設備、安全保障のインフラ、通信が整備された。

経済特区の追加区域
(10 ha)

北部経済特区
(4,6ha)

土地は特区の入居者に賃貸された。
"NIOST" Ltd.

税関ターミナル

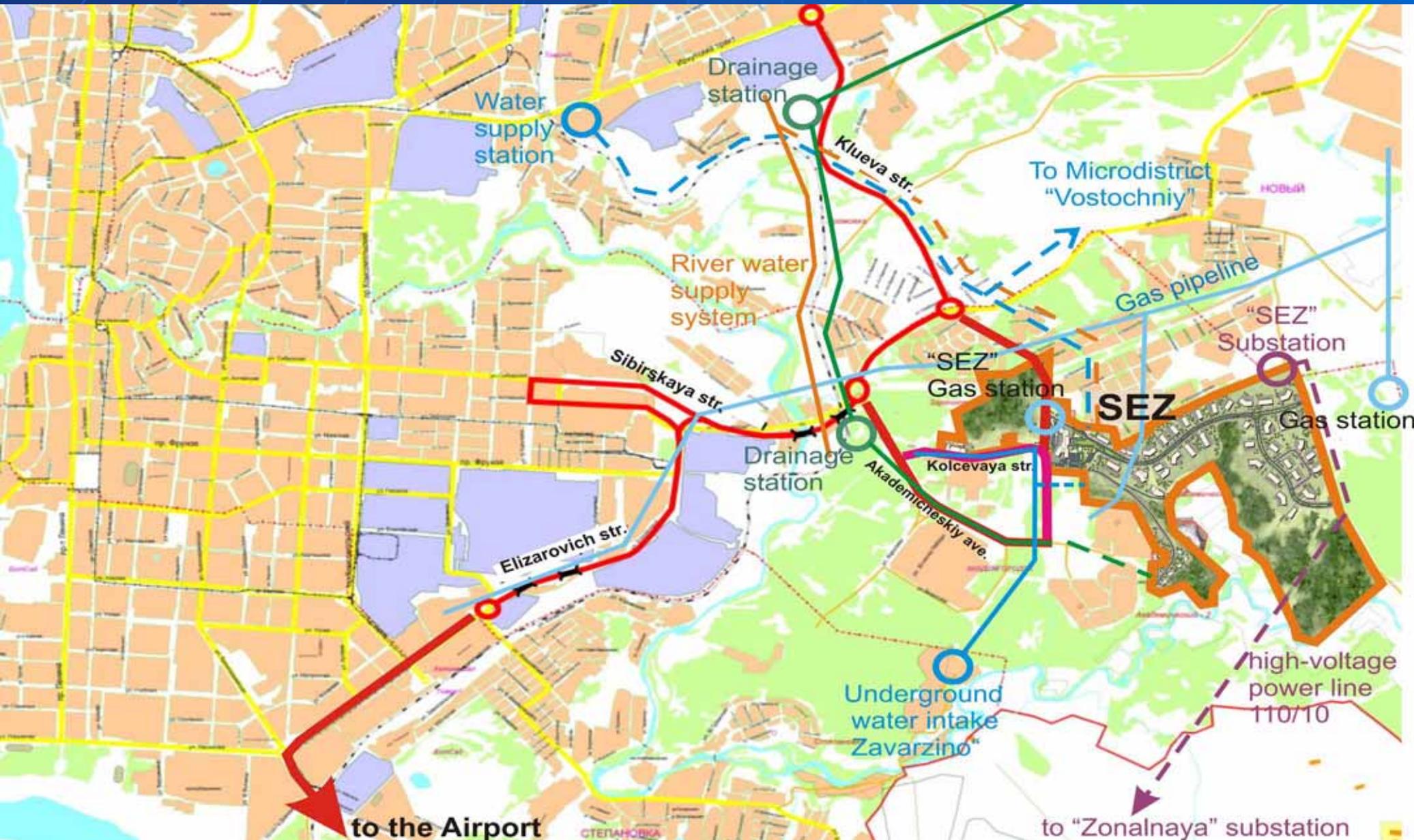
経済特区の予備区域
(50 ha)

トムスクの石油化学コンビナート

北部経済特区のインフラが整備された。
経済特区の検問所と囲いの設計と建設が始まった。



南部経済特区のインフラ



南部経済特区



予備区域 - 77 ha

経済特区区域 - 192,4 ha

南部経済特区



南部経済特区



南部経済特区



南部経済特区



• 開始 - 2008年9月

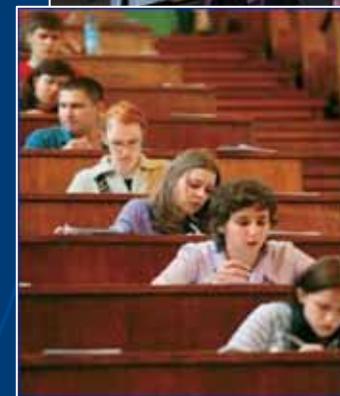
• 面積 - 1万3,4 千平方km

科学学術機関との協力

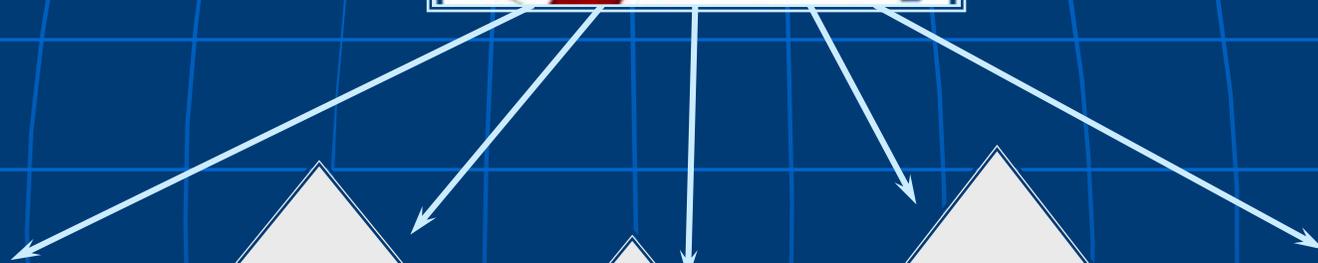
| | |
|-----------------------------------|------------------|
| トムスク 国立大学 | ビジネスインキュ ベーター |
| トムスク 制御システム 無線電子 工学大学 | ビジネスインキュ ベーター |
| トムスク 工科大学 | ビジネスインキュ ベーター |
| シベリア国立i 医科大学 | 製品化オフィス |
| トムスク 建築技術 大学 | 製品化オフィス |
| トムスク 教育大学 | 製品化オフィス |
| ロシア科学 アカデミーのト ムスク科学セン ター | 製品化センター |



| |
|---------------------------|
| 経済特区 |
| 経済特区の ビジネス インキュベーター |
| テクノロジー 移動センター |
| 企業、経済特区の 入居者 |



イノベーションのインフラ



インキュベーター

投資、
ベンチャーファンド

共同使用センター

テクノロジー移動センター

人材の再訓練

経済特区の入居者

プロジェクト作者

テクノロジーの移動



ご清聴ありがとうございました